

提示案が出ている。

県は港湾計画見直しの最終段階にさしかかっており、蒲郡地区としてもこの案のむか代替計画が可能な最終方針を決定していく。

土地区画整理事業の事業予定は

問 土地区画整理事業費は、大幅減額予算となっている。少しでも早く観光蒲郡の顔である駅南地区の駅前整備、50メートル道路の整備を進めるようお願いしたいがどうか。

答 駅南地区は観光都市蒲郡にふさわしい顔づくり、施設づくりを進めている。17年度は駅前広場内の整備に着手し、路線バスとタクシー乗り場の切り替えを進めるとともに、電線類の地中化、交差点改良を供用しながら整備を予定している。

その他の質問

- 1 下水道事業
- 2 保育園民営化
- 3 イベント事業

**蒲郡新政クラブ
代表 波多野 努**

**市の財政運営と
企業誘致・産業支援**

問 健全な財政運営のための経費節減努力は認めるが、それでも財政調整基金の取り崩しがふえてきている。その要因は何か。

答 三位一体改革で補助金の削減に見合う税源移譲がなされていないこと、ボート会計からの他会計繰出金の減少で一般会計からの繰入金が増加したことが大きな要因となっている。



民成地区開発地内

問 市内企業の流出防止や優良企業誘致のため、大胆な産業支援施策を打ち出すべきではないか。

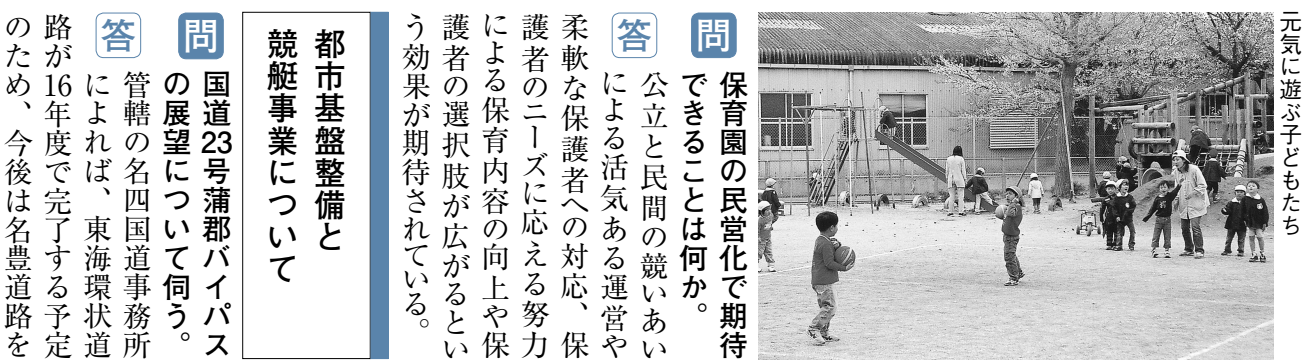
答 市外転出要因の事業用地問題は、民成地区開発がその打開策の一つと考えている。創造的産業活動支援制度の一層のPRに努めるとともに、市内4課による企業活動促進施策を考える勉強会の成果を踏まえ、具体的な対策を検討したい。

**コミュニティ防災意識
高揚のための啓発活動を**

問 ハザードマップの配付にあわせ「地域は自分たちで守る」というコミュニティ防災意識高揚のための啓発活動を積極的に行うべきではないか。

答 個々の意識の高まりが、地域が連携した形での防災力となる。ハザードマップを用いての啓発はもとより、あらゆる機会を通じて啓発活動に取り組みたい。

**保育園の民営化
について**



元気に遊ぶ子どもたち

問 保育園の民営化で期待できることは何か。

答 公立と民間の競いあいによる活気ある運営や柔軟な保護者への対応、保護者のニーズに応える努力による保育内容の向上や保護者の選択肢が広がるという効果が期待されている。

**都市基盤整備と
競艇事業について**

問 国道23号蒲郡バイパスの展望について伺う。

答 管轄の名四国道事務所によれば、東海環状道路が16年度で完了する予定のため、今後は名豊道路を

重点的に整備していくというところである。市としても国と十分な意思疎通を図り、円滑な事業推進に向け地元と協議調整する。

問 競艇活性化のために通年ナイターレースを早く実施すべきではないか。

答 冬のレース水面の状況や寒さへの対策、地元のご理解ご協力が不可欠。17年度は、可能であれば正月ナイターの実現を目指し、その日数増に努めたい。

**公明党蒲郡市議員
代表 松本昌成**

**行政改革の成果と
今後の取り組みは**

問 職員数の適正化、民間委託、指定管理者制度、電子自治体のそれぞれの成果と今後の展開は。

答 職員数は平成9年度から10年間で10%の削減をすることになっているが、1年前倒しのペースで進めている。次の計画の準備を進めている。